SDカード付 溶存酸素計マルチチェッカー

品番 **WA-2017SD** 価格 ￥52,400

- 溶存酸素（mg/L）
- SDメモリ機能付
- データホールド、Max.Min値表示機能
- RS-232Cインタフェース
- バックライト機能付
- オプション pH,ORP(mv),TDS、塩分測定可能

●電極を交換すれば最大7項目の測定が可能なマルチチェッカーです
●SDカード付なのでデータ管理が簡単です
●オートパワーオフ・バックライト機能など多機能型テスタです

仕様

測定項目	溶存酸素、温度、オプション　pH,ORP,TDS、塩分
ディスプレイ	液晶ディスプレイ、バックライト付
機能	データホールド、Max.Min値表示、オートパワーオフ
サンプリングタイム	1回／秒 データロガー：SDカード、 サンプリング時間：1秒～8時間59分59秒
インタフェース	RS-232C/USB
使用環境	0～50℃　85% RH以下
電源	単3電池×6、ACアダプタ FAC-23（別売）
サイズ／質量	177L×68W×45Dmm ／ 490g
セット内容	本体×1、溶存酸素電極 OXPB-11×1、単3電池×6、 SDカード（2GB）、ケース×1、取扱説明書、保証書、 ダイヤフラムセット OXHD-04、電解液（30ml）OXEL-03

溶存酸素計　仕様

測定内容	溶存酸素	温度
測定範囲	0～20.0mg/L	0～50℃
分解能	0.1mg/L	0.1℃
精度	±0.4mg/L	±0.8℃
補正・調整等	温度	高度
	0～50℃、自動	0～8900m

導電率計　仕様

測定値	測定範囲	分解能	精度
200μS	0～200.0μS/cm	0.1μS/cm	±（2% F.S.＋1d）
2mS	0.2～2.000mS/cm	0.001mS/cm	
20mS	2～20.00mS/cm	0.01mS/cm	
200mS	20～200.0mS/cm	0.1mS/cm	

※補償温度：自動では0～60℃　温度補正変数は1℃あたり0～5%
※精度は測定値を100mS以下に指定。※23±5℃時における

pH・ORP計　仕様

測定内容	測定範囲	分解能	精度
pH	0～14pH	0.01pH	±（0.02pH＋2d）
ORP	0～1999mV	1mV	±（0.5%＋2d）

※pH、ORPの測定には別売の専用電極が必要です。
pH計温度補正センサ　品番TP-07　●センサ部…φ4×110mm コード長…1m ¥7,800

TDS（溶解性物質）計　仕様

測定値（ppm）	測定範囲（ppm）	分解能	精度
200	0～132	0.1ppm	±（2% F.S.＋1d）
2,000	132～1,320	1ppm	
20,000	1,320～13,200	10ppm	
200,000	13,200～132,000	100ppm	
温度	0～60℃	0.1℃	±0.8℃

※補償温度：自動では0～60℃　温度補正変数は1℃あたり0～5%
※精度は測定値を66,000ppm以下に指定。※23±5℃時における

塩分濃度計　仕様

測定範囲	分解能	精度
0～12%塩分	0.01%塩分	±0.5%塩分値

※補償温度：自動では0～60℃　温度補正変数は1℃あたり0～5%

DO溶存酸素電極センサ

品番 **OXPB-11** 価格 ￥22,000

●センサ部…φ28×190Lmm　コード長…3.8m

ORP電極センサ

品番 **ORP-14** 価格 ￥13,500

●センサ部…φ12×160Lmm　コード長…3m

pH電極センサ

品番 **PE-03** 価格 ￥7,560

●センサ部…φ12×160Lmm　コード長…1m

CD/TDS/塩分センサ

品番 **CDPB-03** 価格 ￥13,300

●センサ部…φ22×120Lmm　コード長…1m

水質計測項目について

ORPとは?

ORPとは、酸化還元電位（英語:Oxidation-Reduction Potential）のことで、試料中の酸化性物質と還元性物質との平衡によって生ずる電位と基準となる電位の差（mV）をいいます。プラスは酸化の状態、マイナスは還元の状態を示します。つまり、ORP値とは酸化還元反応の程度を電位（mV ミリボルト）で表したもので、酸化させる力が強いほど数値が高く、還元させる力が強いほど数値が低くなります。酸化とは「ものを錆びさせること」（＝酸素を与えること）を指し、還元とは「酸化したものを元に戻すこと」（＝酸素を奪うこと）を指します。よって、ORP計でわかることは、その試料がどのくらいものを酸化する電気的エネルギーをもっているか、どのくらいものを還元する電気的エネルギーを持っているかの指標です。酸化水と還元水を例にすると、+200mVが酸化水と還元水との分岐点となります。これは純水の標準酸化還元電位が+200mVであるからです。図のように、俗においしい水・名水といわれるものは還元水に属しています。